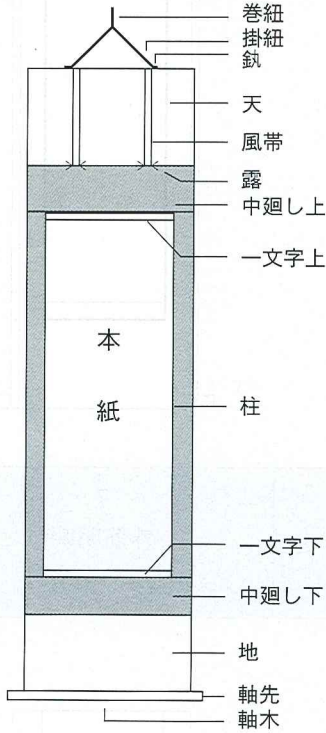


● 掛軸の保存と手入れ

- 1、最初の2、3ヶ月は晴天の日に、巻いたり掛けたり繰り返して馴らす事が大切です。
- 1、掛軸はどんなによい表装でも、掛けっぱなしは軸を傷める原因ともなります。
- 1、梅雨時、風雨の強い日の湿度又、過度の乾燥はシミ・カビ・表装の狂いの原因にもなります。
- 1、シミ・カビや破損の場合は早目に当社まで御相談下さい。
- 1、保管場所は湿度のない風通しのよい部屋に、直射日光の当る乾燥しすぎる所はよくありません。
- 1、あまり強く巻いての保存はいけません。出来れば、少し巻きもどす程度がよいと思います。
- 1、充分掛け馴れた軸でも、1年に一度は秋晴れの日を選んで虫ぼしをして下さい。
- 1、保存には虫喰いを防ぐために防虫香も一緒に箱にお入れすると良いと思います。

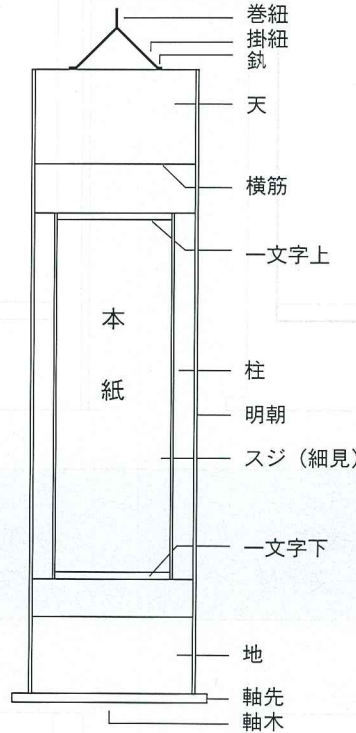
大和表具（本仕立）



当社仕上げNo.69

此の軸装は「書・花鳥山水等、作品は自由ですが、主として、目出度い物、気品のある物」に用いられます。

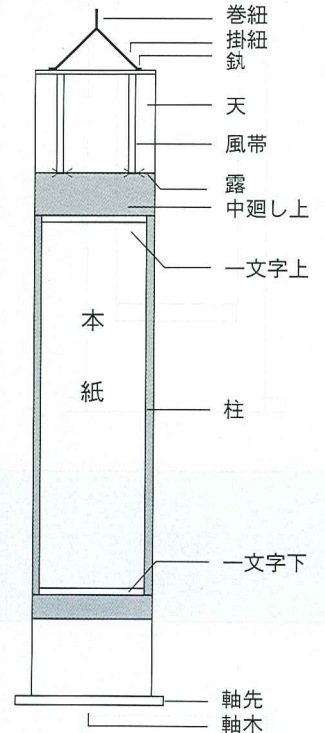
文人表具（明朝仕立）



当社仕上げNo.47

此の軸装は「書・花鳥山水等、作品は自由ですが、格式よりむしろ粋を要求され、大和表装の必要のない物」に用いられます。

輪捕表具（茶掛仕立）



当社仕上げNo.69茶掛仕上

此の軸装は主として茶室に用いられ、柱が細いのが特徴です。

※当社では作品に応じた仕上がりが出る様心掛けております。お気軽に御相談下さい。

● 掛軸の附属品

- 【床の掛軸を調整する金具】自在金具・自在（竹、黒壇、紫壇等）
- 【掛軸を掛る道具】矢筈
- 【掛軸の装飾品】風鎮
- 【掛軸を収納する】桐箱
- 【虫よけに】防虫香

● 掛軸のしまい方

布で表と裏の軸木及び、裏裂を軽くはらい、風帯を折り目通りにたたみ、軸をやや柔らかめに巻紐で巻いて軸は箱にしまいます。

※お手持ちの掛軸でお困りのもの（汚れ・破損等）が御座いましたらお気軽に、御相談下さい。

掛軸のしまい方

